

## ◆ イベントの様子

2019年2月14日開催



### 1. 図書館案内

愛知学院大学の学生に、中部大学の図書館を見たいと聞いていたので、図書館案内を行いました。図書館サポーターの話も交え、真剣に聞いてもらえて嬉しかったです。



### 2. 自己紹介・キーワード決め

自己紹介の後、事前に参加者から集めていたキーワードの中から、実際に本を探すキーワードを選びました。少しずつ打ち解け、会話をしている様子が見られました。



### 3. 本の搜索（人間検索エンジン）

決まったキーワードに関連する本を探しました。普段とは違った探し方なので、難しかったですが、慣れてくると面白くなっていきました。



### 4. ポップ制作

各自探してきた本を読んで、その本を選んだ理由や感想を書いたり、折り紙などの道具を使って思い思いにポップを作りました。



### 5. 発表

自分で選んできた本について、チーム内で発表しました。同じキーワードでも人によって選ぶ本が違い、興味深かったです。イベント終盤には笑い声もあがりました。



繋がった縁から新しい企画を行うことができた  
他大学と一緒に企画をすると、自分の大学だけで行うのとは違った大変さがありました。しかし、1人でいては思いつかないような企画ができる楽しさや、悩みの共有は、交流があるからこそすることができます。企画を通して繋がった円を大切にしていきたいです。

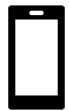
# 人間検索エンジン

## ◆人間検索エンジンとは？

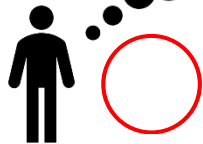
コンピューターを使わずに、自分の知識と目と足でキーワードに関する本を探す企画です。目的の本だけを探して終わるのではなく、本棚を眺めて、こんな本があったんだなという発見をして楽しんでもらうことを目的としています。



PC



Smart phone



Knowledge



Talk (low Voice)



Search

## ◆開催のきっかけ



1. 2018年9月に愛知学院大学でCANブックパーティーが行われました。中部大学、愛知学院大学、南山大学の学生と職員が参加しました。当日は3グループに分かれ、それぞれのチーム内で好きな本について語り、交流しました。

2. その後、このCANでできた繋がりをもとにイベントをやりたいということになり、愛知学院大学発案の「人間検索エンジン」をすることになりました。

